

スマートフォンやSNSが子どもたちにとって身近となる中、子どもたちが情報社会での行動に責任をもち、情報を正しく安全に利用できるよう、情報モラル教育の充実を図ることが大切です。

今号では、情報モラル教育の充実に向けたコンテンツを紹介します。

情報モラル教育ポータルサイト及び動画教材の公開（文部科学省）



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材② 端末を用いて家庭学習を行う（小学1年生～小学4年生））

掲載元：文部科学省

学校における情報モラルに関する指導の一層の充実を図るため、先述した新たな問題について、教員が指導する際に役立つ児童生徒向けの動画教材と手引書を作成しました。

コンテンツ内容：
GIGAスクール構想により整備された学習用端末に関して、学校及び家庭での適切な使い方等について子供たち自身に考えさせる必要があります。本教材では、家庭内での端末の使い方について、これまでの自身の使い方を振り返りながら端末を丁寧に扱うことに関する注意事項、怪しいウェブサイトの特徴について考える内容となっています。保護者も一緒に考えられるコンテンツとなりますので、家庭での宿題や保護者説明にご活用ください。



教材

情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材③ チャットツールを用いた協働学習（小学5年生～中学生1年生））

掲載元：文部科学省

学校における情報モラルに関する指導の一層の充実を図るため、先述した新たな問題について、教員が指導する際に役立つ児童生徒向けの動画教材と手引書を作成しました。

コンテンツ内容：
近年、グループチャットを含めたSNS等への書き込みによるトラブルが大きな社会問題となっており、子供たち自身も加害者や被害者になる可能性が問題視されています。本教材では、学習用端末を用いたグループチャットに関して、情報の送り手側（主人公）の立場から情報を発信する際の注意点や長時間利用をしないために気を付けることについて考える内容となっています。保護者も一緒に考えられるコンテンツとなりますので、家庭での宿題や保護者説明にご活用ください。

文部科学省では、これまで公開していた情報モラルに係る教材コンテンツのほか、自治体の授業実践・活用事例や、他省庁のリンク等を掲載した、「情報モラル教育ポータルサイト」を作成・公開しました。学校や家庭における情報モラル教育の一層の推進に向け、御活用ください。

また、文部科学省のWebページ「StuDX Style」において、情報モラルについての有識者インタビューが特集されていますので、合わせて参考にしてください。



文部科学省 有識者インタビュー GIGAスクール構想 × 情報モラル教育

静岡大学 准教授 塩田 真吾



<情報モラル教育ポータルサイトURL>
<https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/moral/index.html>

<文部科学省Webページ「StuDX Style」特集ページURL>
<https://www.mext.go.jp/studxstyle/special/50.html>



活用型情報モラル教材「GIGAワークブック」汎用版の無償提供開始

LINEみらい財団のWebページでは、情報モラル教材「GIGAワークブック」汎用版を無償で提供しています。

本教材は、発達の段階に合わせ、ビギナー（主に小学校1～3年生向け）、スタンダード（主に小学校4～6年生向け）、アドバンスド（主に中学生・高校生向け）に分かれた児童生徒用のワークブックと、教師が授業を行う際に参考となる「活用の手引」がセットになっています。ぜひ御活用ください。

<LINEみらい財団のWebページURL>
<https://kids.yahoo.co.jp/edu/moral>




「GIGAワークブック（スタンダード）」教材イメージ
児童・生徒用教材

今号のコラム

子どもと決める、1人1台端末利用のルール ～旭川市立緑新小学校の取組～

児童生徒が1人1台端末を適切に利用する上で、発達の段階に応じたルールをつくるのが大切です。

旭川市立緑新小学校では、高学年の児童が日常の端末利用を振り返って気を付けたいことをまとめ、先生と話し合いながらルールを改善しています。

端末のルールは、低学年、中学年、高学年それぞれに「iPadの約束」として、児童に配付したり、教室に掲示したりしています。

こうした取組は、児童生徒が端末を大切に扱う責任を自覚し、情報モラルについて主体的に考えることにつながります。



iPadの約束（1・2年生用）
（※抜粋）

- ぶつかったり、落としたりしないようなところに置きます。
- 勉強に関係のないものを見たり、送ったりしません。
- 自分のIDやパスコードは、他の人に教えません。
- 友達の写真や動画を勝手に撮りません。

StuDX Style と Apple社、Google社、Microsoft社が連携

文部科学省のWebページ「StuDX Style」に掲載されている汎用的な実践事例をもとに、文部科学省がApple社、Google社、Microsoft社のそれぞれの事業者と連携し、使い方や素材等について具体的に紹介したWebページが公開されました。各学校のICT活用の推進に向け、御活用ください。

Apple社



Apple製アプリケーションの基本的な使い方や、毎日の業務や授業に役立つアイデア、一斉・協働・個別学習のいずれでも使える授業のためのアイデアなど、多数の情報が掲載されています。



▼ <https://www.apple.com/jp/education/giga/>



Google社



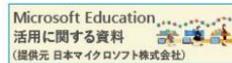
基本的な活用場面における操作方法等が、画面イメージも交えて例示されています。「基礎を知りたい!」という先生が申し込み可能な研修情報や参考資料のリンクも掲載されています。



▼ https://services.google.com/fh/files/events/studx_google_for_education_20211126.pdf



Microsoft社



「授業・校務活用素材ポータル」にて、様々な素材が掲載されています。StuDX Styleと連携し、「StuDX 2-④」などと検索すると、該当の活用事例に関連した素材を探することができます。



▼ <https://kyouzai.jp>



ICT活用ポータルサイト



チャットボット案内が利用できるようになりました!

ICT活用に向けた校内研修プラン



ICTに関する校内研修を企画・実施する際はこちらへ!

「みんなで研修」プログラム



短時間でICT活用を学べます!

「いつでも研修」プログラム



1人1台端末の操作研修はこちらへ!

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

